

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	住宅リフォーム促進事業	担当者	地域経営課 商工観光政策係
-------	-------------	-----	---------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／商工業の振興		
関連する主な計画等			
根拠法	住宅リフォーム促進事業補助金交付要綱		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	村民		
事業開始年	H23～ <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を図るとともに、村民の住環境の向上をはかる。					
具体的取組	平成23年4月より補助金交付要綱施行 自己の居住する住宅改修等に要する費用20万円以上のものに対して、10万円の補助を行う。 阿智村商工会の見積等内容審査を経て申請を行う。					
実績・効果	建築・住宅関連の潜在的需要を掘り起こし、村内事業者の受注につなげるとともに、地域内経済の循環により、村内経済の活性化が図られる。 H23:96件、72,000千円、H24:72件、53,000千円、H25:58件、43,000千円、H26:38件、17,045千円、H27:40件、22,807千円あまりの事業が行われている。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	補助金	4,000				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	5,800	3,800	4,000	4,000	4,000
	うち一般財源					
	うち補助金					
	うち個人負担					
従事職員 (人)	正規職員					
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	ニーズはある	A
	手段、成果は妥当か	a	リフォームの呼び水としては効果的である	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	補助金としての関与の仕方は妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	効果はみられるが、件数が頭打ちとなっている。		B
効率性	コストの削減に努めたか	a	現状では余地なし	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	現状では余地なし	
公平性	受益者負担は適切か	補助金以外の費用は全て自己負担		A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	一世帯一回の補助金であり、件数が頭打ちとなっている。
今後の取り組み	地域経済の活性化に補助の重点がおかれているため、住環境整備の面から施策として見直す必要がある。